

## 千葉県野球協会特別規則

この規則は、別に定める規則を除き、本協会が主催する大会の全ての試合に適用する。

1	球場の開門は、原則試合開始60分前とする。
2	参加申込以降の選手変更を認めるので、変更が発生した場合は、試合当日に変更後の参加申込書1部持参し、オーダー表とともに本部へ提出する。
3	第1試合のチームは、試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着のこと。 打順表はチームで準備のこと。(A級及びB・C級の準決・決勝は除く)
4	打順表の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで監督または主将が大会本部に3部を提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。(市民大会クラスは照合不要とする)
5	打順表の記入方法 (1)登録された者のうちベンチ入り選手を記入する。 (2)指名打者制採用の場合、指名打者の守備欄に<DH>、先発投手は控え選手欄先頭に各々記入する。 (3)EDH制を採用の場合、EDH制選手の守備欄に<E>を記入する。
6	組み合わせ表にある試合開始時刻はあくまでも予定であり、第2試合以降のチームは、予定時刻の60分前までに集合し、大会本部へ到着を届けでること。
7	ベンチに入れる人員(学童) 登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番・27番および選手10名以上25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー各1名、介護員2名とする。
8	正式試合 正式試合になる回数は5回とする。5回を満たないときでも、制限時間を経過した場合は正式試合になる。
9	得点差によるコールドゲームの適用 (1)9回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。(二段階制) (2)7回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
10	投手の準備投球(一般) (1)先発投手は初回に限り、6球以内とする。 (2)救援投手は初回に限り、6球以内とする。 (3)前回から引き続き登板する投手は、3球以内とする。
11	投手の投球制限(学童) 学童について、投手の投球回数は1試合4イニング(12アウト)とする。
12	延長戦 規定回数を完了して同点の場合、または制限時間を経過したため、球審が試合の打ち切りを命じたときに同点の場合は、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。
13	特別延長戦 (1)A級は、勝敗が決定するまで行う。 (2)A級以外は、1回のみとし、勝敗がつかない場合には、抽選(じゃんけん)で勝敗を決定する。
14	試合時間 (1)B級、マスターズおよびシニア、7イニング制とする。但し2時間を超えた場合は新しいイニングに入らない。 (2)C級、7イニング制とする。但し90分(準決勝・決勝は2時間)を超えた場合は新しいイニングに入らない。 (3)市民総合スポーツ大会、7イニング制とする。但し90分超えた場合は新しいイニングに入らない。 (4)少年、1時間45分とし、これを越えた場合新しいイニングに入らない。 (5)学童、1時間30分6イニング制とし、時間を優先する。
15	A級の試合回数 決勝戦および代表決定戦を除く敗者復活戦は7イニングとする
16	次の試合のバッテリーは、競技場内ブルペンの使用を認める。 (1)A級・B級・マスターズ・シニア 5回終了後 (2)C級・市民総合スポーツ大会 前試合の1時間経過後に本部より指示 (3)先発バッテリーのみ、捕手は防具を着用 (4)試合中チームの使用を優先
17	棄権した当日が雨天等で順延となっても棄権の取消はない。